

こうきた 3月号

杉並区立高円寺北子供園



おおきくなるってことは…

園長 須田 なぎさ

今年は寒さが厳しいように感じます。自然園の梅がやっと咲き始めました。これから、ぽかぽかと暖かな日も増えて、いよいよ春です。修了式・終業式の日が近づいてきました。

先日、新入園児保護者会が行われました。4歳児たんぽぽ組が、4月に入園する新入園児に向けて、歌とメッセージを動画にしてくれたので、見ていただきました。また、プレゼントとして、手作りの塗り絵とそれを入れたバッグも作ってくれました。例年は、新入園児を迎えて「入園体験」として保育室で一緒に遊び、プレゼントを渡していましたが、コロナ禍のため、このような対応になりました。直接触れ合うことができないのは残念ですが、たんぽぽ組なりにまだ見ぬ自分より小さい子どもたちのことを思い、心を込めて取り組んだことが、5歳児になる意義につながったようです。

「おおきくなるっていうことは」という絵本があります。その中に、「おおきくなるっていうこと」とは、「じぶんより ちいさなひとが おおくなるってこと」と書かれています。たんぽぽ組にとっては、進級して一つ大きくなり、このことを体験します。

「ちいさなひとに やさしくなれるってこと」という文章もあり、たんぽぽ組は、今年、にじ組からしてもらったことを思い出して、4月から直接関わる中で、きっとやさしく接してくれることと期待しています。

5歳児にじ組は、先日、高円寺小学校へ行き、校内を案内してもらいました。小学生たちは、みんな「あっ。新しい一年生！」と、優しいまなざしで迎えてくれました。小学校との連携の目的は、「大きくなることへの期待をもつ。小学生への憧れをもつ」などです。今年は残念ながら直接交流はできませんでしたが、しかし、にじ組を迎え入れてくれた小学生や先生方の温かい雰囲気は、就学にむけての喜びや期待につながったと思います。

案内してくれた副校長先生に、「困ったことがあったら先生に聞く」と教えてもらったにじ組は、早速「給食は残してもいいのですか」「嫌いなものがでたときはどうしたらいいですか」と質問していました。先生に聞いていいのだという安心感をもてたようです。

いよいよ1年生。自信をもって、大きく一歩踏み出して行ってください。前出の絵本には、「おおきくなるっていうことは おもしろいことが どんどんみつけられるってこと」とあります。

子供園でたくさん楽しんできたことを忘れずに、さらに、おもしろいことを見つけて、興味関心を広げて行ってほしいと思います。

保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



《3月の保育》

★たんぽぽ組



今月は、今まで子供園で一緒に遊び、様々なことを教えてくれた年長組とのお別れを控えています。年長組へお祝いの気持ちや感謝の気持ちをもってお別れ会の準備をします。また誕生会では2月に年長組から教えてもらったことを思い出しながら司会をしたり、当番を引き継いだりしていきます。

そのような中でも、自分で選んだ遊びを十分に楽しめるようにし、思いや考えを友達に伝えながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきます。

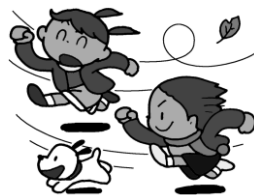
4月に入園して、もうすぐ1年が経とうとしています。自分のやることが分かり、めあてに向けて自分の力を出していけるようにしていきます。



★にじ組

子供園生活、最後の1か月となりました。子どもたちは、自分なりにめあてをもって投げゴマや縄跳びに繰り返し挑戦したり、友達と一緒にドッジボールや開戦ドンなどの運動遊びを楽しんだりしています。保育室の遊びでは、これまで積み上げてきた経験を活かして、色々な物を作って遊ぶことを楽しむ姿が見られます。3月は修了式に向けた取り組みが多くありますが、その中でも、自分のやりたい遊びに向かう時間を十分に確保し、充実した子供園生活を送れるようにしたいと思います。

学級では、一年間の生活や遊びを振り返りながら、修了に向けての様々な活動に取り組んでいきます。残り少ない毎日の中で、自分らしさを発揮し、友達との遊びを十分に楽しみながら、『子供園は楽しかった!』という充実感や満足感をもって修了を迎えられるようにしていきたいと思います。



《園からの連絡》



避難訓練について

子供園では毎月避難訓練を行い、子どもたちにどのように行動すればよいかを伝えてきました。今回は、子どもたちに伝えてきた主な内容をお知らせします。

“お・か・し・も”の約束

お：押さない、**か**：駆けない、**し**：しゃべらない、**も**：戻らない です。

このように行動することで安全に、落ち着いて避難できます。

火災の時には、煙を避けて呼吸を保つためにマスクをしていない時には、ハンカチで口を押えます。

地震の時には、周囲の落下物に気を付けて机の下などに入りダンゴムシのように体を小さくなることや、頭を手で押さえたり、後ろから首も押さえたりして身を守ります。

ご家庭でも、以上のことを子どもと共有して安全に避難しましょう。

※3月11日11時、区内の施設内で、同時刻に行う“シェイクアウト訓練”に参加します。
右記の“安全行動の1-2-3”を意識して行動します。



特別支援・子育て支援 コーナー

副園長 川副 園美

2月15日（火）にPTA主催の講演会でお話をさせていただきました。参加者の皆様が、うなずいたり、笑ったりしながら聞いてくれたので、1時間半があつという間に過ぎていきました。

テーマは、「子育ての道筋」誰もが通る発達について。そして、もう一つ「虹色の子どもたち」様々なタイプの子どもの特徴と対応についてお話をしました。

また、コロナ禍における子育ては、クラスの保護者同士でおしゃべりをする機会が少ないため、つながりがもてず、孤独な子育てをしていることについて触れました。そして、園として、援助の機会がもてずにいたことを申し訳なく思っていることをお伝えしました。「ぜひ、園のスタッフとおしゃべりしませんか?」「気軽に声をかけてください。」と声をかけたところ、何人かのお母さんからオファーが来ました。

おしゃべり会では、生まれたときからのお子さんの様子を伺ったり、園では見られない姿を教えてもらったりしました。お話の中から、お子さんを大事に、そして、丁寧に育ててきたことが伝わってきました。子育ては、知恵比べ。思うようにいかないのが当たり前です。おしゃべりをする中で、私が気付いたことや、自分の経験談をお伝えして1時間くらいのおしゃべりを終えました。

子育ては千差万別、一様にはいきません。私のアドバイスが当たるかもしれないし、全然効果がないかもしれません。それでも、おしゃべりをして、少しでもすっきりしていただけたら幸いです。そして、子どもは、育つ過程で自分の出し方を変えていきますので、大人も見方や対応も変えていく必要があります。だんだん手ごわくなっていく子どもたちとの関わり方を、これからも一緒に考えていきましょう。

最後に、お母さんたちみんな、子育てよく頑張っています！自分のことを大事にできるお母さんでいてください。